

# 令和4年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和5年 3月 8日

学校法人 小澤学園 国立富士見台幼稚園

## 1. 本園の教育目標

\* 集団生活を通して、健全なからだと心のバランスの取れた豊かな人間形成の基礎を養う

\* 自分の好きな遊びを思いっきり楽しんだり、ともだちと共に同じ経験を共感し、その体験の中から自立性や他者を思いやる心を育む。

\* 四季折々の農園作業を体験することで、自然の偉大さ大切さを知り、豊かな情操を育む。

## 2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

\* 本園の教育目標を踏まえ、幼児が楽しく活動できる環境を整え、質の高い教育の実践を目指す。

## 3. 幼児教育の内容・方法の充実・改善を図る評価項目

\* 外国人の英語講師を定期的に招き、園児たちが楽しみながら講師との交流・英語に触れる機会を持つ。

\* 芝生化した園庭を活用し、園児が運動や遊びを通して体力作りに取り組む。

\* 自然環境を活かした諸行事の充実

\* 年長児に実施している茶道指導をより充実させる。

## 4. 評価項目（教育課程を見直し、改善を図る）の達成及び取組状況

外国人の英語講師を定期的に招き、園児たちが楽しみながら講師との交流・英語に触れる機会を持つ。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

評価＝A

取組状況＝年少児は初めての英語に戸惑いながらも、徐々に楽しく参加できるようになり、年中・年長と回数を重ねる毎に理解も深まり活発なレッスンになっていった。又、色々な国の講師と触れ合えることで、海外への興味を感じられるようになった。各学年、各クラス毎の様子を報告し合い、子ども達の取組状況を把握した。その上で保育者の声かけの仕方等も工夫し、子ども達がより楽しく活発に英会話レッスンに参加できるようにした。日常的に英語で天気を言う等、英会話で行ったことを定着できるようにした。

芝生化した園庭を活用し、園児が運動や遊びを通して体力作りに取り組む。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

評価＝A

取組状況＝子ども達がのびのびと園庭で遊び、寝転んで友達と談笑したりする微笑ま

しい姿が見られた。又、転んでも芝生により大きな怪我を防ぐことができた。安心して走ったり、思い切り体を動かして遊ぶことで、体力向上につながっている。

### 自園所有の農園行事の充実

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

評価＝A

取組状況＝じゃが芋堀や田植え・稲刈りを通して、普段当たり前に食しているお米や野菜・給食・お弁当等に、感謝の気持ちを持つことが出来た。又自然に直接触れることで、豊かな情操を育むことが出来た。又、各クラス手作りの「案山子」が立つ田んぼは、地域の人気スポットになり、幼稚園の取り組みをアピールできた。

### 年長児に実施している茶道指導をより充実させる

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

評価＝B

取組状況＝園の茶室を使用し年長児に指導する茶道（ごきげんよう教室）は、コロナ禍ということで色々な制約のなかでの指導となり残念でした。しかし、和室での作法（相手に対する礼儀や挨拶等）、普段とは違う緊張感のなかで行うことができて、年長児には良い時間・経験となった。

## 5. 総合的な成果（4つの項目に取り組んだ結果）

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

評価＝A

理由＝当園の特色を活かした農園行事や芝生の園庭での遊び等、沢山の経験をし、一人一人の意欲の向上や感じる事の大切さが学べた。自然豊かな環境で、心身共に成長できた。

## 6. 今後取り組む課題（教育・環境・安全管理・幼少接続、等々質の向上）

教育…自ら考える力を養えるように様々なことを経験・体験する

環境…現況を維持し、子ども達が積極的に遊べるようにする。

安全管理…危機管理マニュアルを見直し、作成する。

幼小接続…共に学ぶ機会を持ち研修会などに参加する

## 7. 学校関係者評価委員会（当学園評議員会）の評価（令和5年3月17日）

国立富士見台幼稚園の地域性・特色を活かした取り組みは、大いに教育水準の向上に繋がっている。又、豊かな教育環境・自然環境の中で、健全な体と心のバランスの取れた豊かな人間形成の基礎を養う教育が展開されていることに大変感銘を受けた。今後も国立富士見台幼稚園の教育に期待したい。